

平成25年度を振り返って（後編）

校園長 石井 喜和

弥生三月、平成25年度の最終月を迎えました。先日、校地外周のゴミ拾いをしていましたら、思いがけない場所でフキノトウを見つけました。雑草の中に小さな芽を出し、一足早く春の訪れを教えてくださいました。保護者・御家族の皆様、地域の皆様には、日頃より本校園の教育活動に御理解・御支援をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で、こうして子どもたちは、この寒さにも負けず、毎日元気に学校生活を送ることができ、卒業・卒園、進級に向け1年のまとめに取り組んでいます。これまでの本校園に対します御力添えに心より感謝申し上げます。

今年の冬は、雪こそ非常に少なかったものの寒暖の差が激しく、インフルエンザとノロウイルスの感染が、全国的に猛威をふるいました。本校でもインフルエンザは、まずA型が流行し、併せてすぐにB型が流行しました。その結果、2クラスで学級閉鎖を行いました。これから3月中だけでなく、4月になっても十分な警戒が必要な様相です。今後も「30秒間の手洗い」と「丁寧なうがい」、「マスクの着用」をお願いします。さらに、体力等が低下して感染しないように、引き続き「早寝・早起き・朝ご飯」活動で、お子様だけでなく御家族全員の健康維持に御協力をお願いいたします。

さて、小学校では3月14日（金）に卒業式、幼稚園では3月18日（火）に卒園式を迎えます。この「麻生津ネット第10号」には、平成25年度を振り返り、たすく・4年生・5年生・6年生の記事を載せ、先月発行の前号では、幼稚園・1年生・2年生・3年生の記事を載せ、この1年間のまとめの学校園便りいたします。

ところで、3月10日付けで「平成25年度学校評価アンケートの集計結果」を御家庭に配付しました。また、この麻生津ネットと同じように、公民館の御協力で、それを麻生津地区全自治会の各班に回覧させて頂きます。昨年度と本年度の比較と主な来年度の取組について書かせて頂きましたので、ぜひ、保護者・御家族の皆様、地域の皆様に御熟読いただきたいと思います。そのなかで、皆様をお願いしたいことがあります。それは「挨拶」のことです。子どもの9割以上は、挨拶が出来ていると答えていますが、保護者の方で場に応じた挨拶が出来ていると回答されたのは、実に6割程でした。今後、保護者・御家族、地域の皆様の御協力のもと、市民憲章の実践目標にもありますように「あいさつは、まず私から声かけよう」を広め、人と人とのファーストコンタクトは、気持ちのよい元気な挨拶から始めることに取り組んでいきたいと思っております。御家庭や地域での、実践と啓発に御協力ください。なにとぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、福井市学校教育目標「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」のためには、学校での教育活動とともに、どれだけ家庭や地域社会での現実の状況のもとで「生きる力」を身につけられるかが重要だと思います。そして、子どもも立派な社会の一員として、御家族や地域社会の方との絆を大切に、生きていって欲しいと思っております。今後もこれまで以上に子供たちのため、麻生津幼・小学校のため御理解・御支援をいただきますことを重ねてお願いいたします。本年度最終号の学校園便りの御挨拶とさせていただきます。